

令和 6 年度 坂出市総合教育会議

1. 日時 令和 7 年 2 月 7 日(金) 開会 13 時 30 分～閉会 14 時 30 分
(所要 1 時間)

2. 場所 坂出市教育会館 2 階 大会議室

3. 議題

- (1) 多様な教育ニーズへの対応について
- (2) その他

4. 出席者

市長	有福 哲二	教育長	山田 知志	教育委員	漆原 恵子
教育委員	山地 誠治	教育委員	川中 祥照		

5. 欠席者 教育委員 林 陽子

6. 出席した職員

政策部長	林 尚志	政策課長	大林 紀彦
教育部長	松川 忠司	学校教育課長	高木 亮一
教育総務課長	新保 和志	文化振興課長	片山 美江
中央公民館長	黒木 弘美	こども課指導主事	長尾 充希

7. 取材 記者 1 名 (KBN)

《会議の概要》

政策部長 ただいまから令和 6 年度坂出市総合教育会議を開催する。最初に有福市長からご挨拶をお願いします。

市長 (市長挨拶)

政策部長 それでは運営要領第 4 条の規定に基づき、有福市長に議事進行をお願いします。

市長 本日の議題である「多様な教育ニーズの対応について」について事務局より説明を求める。

事務局 (資料の説明)

市長 ただいま事務局から「議題1 多様な教育ニーズへの対応について」についての説明があった。何かご意見があれば、ご発言をお願いします。

教育委員 校外支援センター、コスモスの部屋と院内学級について。対象となる子どもたちの範囲と、設置場所がどこになるのか教えてほしい。

事務局 コスモスの部屋は、当初市内3中学校を中心に考えていたが、9小学校も対象としている。現在は、小学校の相談者もいる。

院内学級については、加茂町の、こころの医療センター五色台内である。加茂小学校、白峰中学校の学級の位置づけである。

県費職員の派遣を依頼しており、県教育委員会から概ね了承を得ている。

教育委員 コスモスの部屋は誰が運営するのか。

事務局 運営者は教育委員会であり、本年1月からは教育委員会の職員が担当しているが、4月からは教員OBの起用を検討している。

教育委員 国が提唱する「個別最適な学び」を進めるためには、人的リソースが限られる中、ICTを効果的に活用する必要がある。

事務局 自動的に13言語に翻訳できる保護者連絡アプリや、特別支援教育用の教育ソフトの活用を検討している。

オンライン授業について、岡山県との人事交流で来られていた先生とオンラインでの授業を実施した。学校再編に向けて再編対象校間の合同授業でのオンライン活用も検討中である。

教育長 県の施策として、スクールソーシャルワーカーや、スクールカウンセラー、特別支援学級支援員の増員を予定しているとのことである。

教育委員 坂出市は、人権尊重のまちづくり条例、インターネット上の誹謗中傷等の防止に関する条例を制定しており、人権授業はよくしていると感じる。他市町と比較し、端末を利用した活動が整理されていないのでは。持ち帰り率が他市より低いと思う。

事務局 日経BPによる令和5年度の文科省調査を基にしたランキングでは、坂出市のインフラ整備は全国で小学校は19位、中学校は32位、四国では1位である。大きな要因はネットワーク速度である。廃校となった瀬居中学校を除くと、中学校の順位も上昇する。教員指導力は高松市と同等の評価で

あった。1月からは白峰中学校で端末の持ち帰りを開始した。また、小学校も持ち帰りを進めている。

教育委員 県は人員の増員方針とのことだが、さかいでスクールサポートティーチャーについて、要望が多いにもかかわらず人員が不足しているのでは。

事務局 退職教員に来ていただいているが、定年延長や再任用制度の影響で人材確保が困難となっている。

市長 続いて、その他の議題で、何かご意見があれば、ご発言をお願いします。

教育委員 教育に関しての公民連携について。

市長 民間と学校の連携について、教育委員会から提案があればと思う。学校の先生は、先生の得意分野があるが、例えば金融教育や英語など民間と連携を図ることもできると考える。総合教育会議では教育内容についても意見交換を行いたい。

先生がたはがんばっているが、人は不足していると感じる。デジタル化というが、デジタルを採用するために人が必要な状況である。現状はデジタルとアナログが両立している。

事務局 一例として、百十四銀行が、小中学生を対象とした金融トラブルや金融教育に関する説明会を開催予定である。

教育委員 多様な教育ニーズの解決には多方面との連携が重要である。行政内部でも様々な分野との連携システムづくりが必要であり、それが教員の資質向上にもつながるのではないか。

教育長 学校現場で、昨年着任した地域おこし協力隊員の協力を得られないか。

事務局 令和6年12月に着任し、現在は市内の現状を把握中であり、市内民間企業と連携を図りはじめたところである。学校現場の話は、今後可能性を探っていく。

市長 社会問題の原因のひとつは「孤立」だと考えている。日本語指導を必要とする子どもたちやその親が、さかいでまつりの国際交流連への参加や、イベントで食を通じたつながりができないかと思う。

教育委員 明石市や高梁市の施設など図書館機能を有した施設がいろいろあるが駅

前施設と駅は直結しないのか。

市長

2 階部分の直結は費用面を考え見送ったが、雨に濡れないで行けるようにはする予定である。他市で、民間の本屋と図書館を組み合わせたところもある。坂出では子どもや親、学生に使ってほしい。専門書や文献等は県立図書館等にまかせ、坂出では新聞雑誌などを中心にそろえることで人が集まりやすくしたい。高校進学時に坂出市はおもしろいところが無いから市外に行くとの声がある。楽しさ、美しさ、豊かさ、を坂出市のまちづくりのコンセプトとしている。自分もわくわくするような楽しく、美しいデザインで、心豊かになるようなまちづくりを目指していく。

坂出市総合教育会議運営要領第6条第2項に基づき、署名する。

坂出市長

教 育 長